

実質化された人・農地プラン

市町村名	対象地区名(地区内集落名)	作成年月日	直近の更新年月日
高千穂町	山附	平成31年3月28日	令和3年3月29日

1 対象地区の現状

①地区内の耕地面積	40.1ha
②アンケート調査等に回答した地区内の農地所有者又は耕作者の耕作面積の合計	28.0ha
③地区内における70才以上の農業者の耕作面積の合計	2.1ha
i うち後継者未定の農業者の耕作面積の合計	0.1ha
ii うち後継者について不明の農業者の耕作面積の合計	1.2ha
④地区内において今後中心経営体が引き受ける意向のある耕作面積の合計	0ha
(備考)	

2 対象地区の課題

狭小な農地が多く、農地、農道の整備が進んでいないことから、耕作放棄地の増加が懸念されている。兼業農家の増加と共に将来の担い手不足も課題となっており機械の共同化や基盤整備が求められている。

3 対象地区内における中心経営体への農地の集約化に関する方針

山附地区の農地利用は、中心経営体である認定農業者8経営体が担うほか、入作を希望する認定農業者や認定新規就農者の受入れを促進することにより対応していく。

4 3の方針を実現するために必要な取組に関する方針(任意記載事項)

・集落営農法人の検討
集落内の耕作放棄地解消を個人の担い手農家で対処するには限界があるため、共同機械導入、作業受託を目的とした集落営農組織を設立。将来的に法人化を目指し、農地中間管理事業を活用した地域の農地引き受けの担い手となる。

法人組織の整備により、親元就農や地域外からの新規就農者を受入れやすい体制を整える。

・山附オリジナルブランド作りの推進
二上神社や山附川の清流に舞うホテル等の観光資源を活用し、農家民泊やインバウンド事業を活用した農業交流人口の拡大を目指す。
地域の特産となるような高収益作物の導入を検討する。

(参考) 農地の貸付け等の意向(任意記載事項)

アンケート調査等による 将来の農地の貸付け等の意向	貸付け等の区分(m ²)		
	貸付け	作業委託	売渡
山附地区	2,500		13,000